

学年	高校2年	教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
教科書名	新高等保健体育			副教材名	新高等保健体育ノート		
クラス・コース	N進学理系			担当者名			

I. 目標

私たちの心と体は、年齢とともに変化していく。ま健康のために私たちや社会がすべきことも、それにもなって変化している。思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみやそれらの活用のしかたなどについて学ぶ。また、私たちを取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみや、社会の制度・活動などが密接にかかわっている。それらと個人との努力が組み合わさってはじめて健康な生活が実現するのである。健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などについても学び、1年間の授業を通じて、生涯にわたり健康を保持増進していくための、知識と実戦力を身につける。

保健体育の授業では、心身の発達や体力の向上を促すだけでなく、現在および将来にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、明るく健全で豊かな生活を営む態度を育成することを目標にしている。

II. 授業のねらい

生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることおよびわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。

III. 授業の進め方

教科書や参考資料（保健体育ノートやパワーポイントなど）を使って、実際の生活に置き換えて健康について考えながら授業をすすめる。

IV. 学習上の留意点

板書はノートまたはプリントに書き写すこと。また、後から見直して理解できるように色分けし、先生の説明を書き入れる等の工夫をすること。

V. 定期試験

1. 学期ごと定期考査を行う。
2. 出題内容は、教科書、授業での板書や配布プリントから出題する。
 - 1 学期 期末試験：思春期と健康～働くことと健康
 - 2 学期 期末試験：労働災害の防止～食品の安全性を確保する取り組み
 - 3 学期 学年末試験：保健制度とその活用～誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり

VI. 評価の方法

1. 評価は定期考査の結果と授業の取り組み（質問への姿勢・態度）ノートなどの提出物を評価（提出期限を守る）、小テストなどを平常点で合わせて評価する。

三 学 期	1	7. 保健制度とその活用 8. 医療制度とその活用 9. 医薬品の制度とその活用	授業への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割や保健サービスの適切な活用について理解する。 ・医療保険の仕組み、医療サービスの適切な活用方法について理解する。 ・医薬品には承認制度や販売に関する規制があり、使用法に関しても正しく使う必要があることを理解する。 ・日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。 ・自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。
	2	10. 様々な保健活動や対策 11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	小テスト	
	3		副教材ノート 提出 学年末試験	

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。